

授業科目

教育原理（教育史・教育課程の意義含む）

担当教員名 吉田 重和	対象学年	1	対象学科	健栄・スポ・看護
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

本科目は、受講者が、教育の基本原則について理解を深めることを目標とする。「教育とは何か」「なぜ学校へ行くのか」。本科目では、これらの問いに対する答えを探るべく、教育の史的展開や思想的変遷を中心に、教育（及び教育機関）を取り巻く様々な事象を網羅的に取り扱っていきたい。

授業の目的

本科目は、教職課程「教職に関する科目」の一科目である。教育の基礎理論に関する科目として、教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想を中心に取り扱い、他の教職科目に先駆けて、受講者の教職に関する学術的素養の伸長を図ることを目的とする。

学習目標

1. 「QOLサポーター」及び「教師」の資質を併せ持った「QOLサポーターとしての教師」像について、自らの言葉で考え、説明できる。
2. 「教育とは何か」について考察することの意義を説明できる。
3. 教育の意義について、人間の成長・発達との関係から説明できる。
4. 教育は社会の中で展開される営みであり、教育に対し社会変化の影響があることを理解する。
5. 日本教育史及び西洋教育史における基礎的な知識を持ち、それらの歴史的な意義を説明できる。
6. 学校と教師の現状について、「教職概論」で得た知識等を生かしつつ、複数の観点から説明できる。
7. 教育課程に関する基礎的な事項を理解し、学校教育におけるカリキュラムの在り方について説明できる。
8. 教育の方法及び技術について、理論的背景とともに、学校現場において求められる基礎的な事項を理解する。
9. 総合的な学習の時間の原理と方法を理解し、自身が指導する際の指針を立てることができる。
10. 特別支援教育をめぐる現状と課題について、実践に即して理解し、自身が指導する際の指針を立てることができる。
11. DVDの視聴とグループワークを通して、様々な時代/国・地域における教育実践の概要とポイントを理解する。
12. 指定課題文の読解とグループワークを通して、様々な時代/国・地域における教育実践の概要とポイントを理解する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	講義	吉田 重和
2	教育の目的と本質	講義、グループワーク	吉田 重和
3	教育と人間の成長・発達	講義、グループワーク	吉田 重和
4	社会の変動と教育	講義	吉田 重和
5	日本の教育・世界の教育(1)	講義	吉田 重和
6	日本の教育・世界の教育(2)	講義、グループワーク	吉田 重和
7	日本の教育・世界の教育(3)	講義、グループワーク	吉田 重和
8	日本の教育・世界の教育(4)	講義	吉田 重和
9	学校と教師	講義、グループワーク	吉田 重和
10	教育の内容と教育課程	講義	吉田 重和
11	教育の方法と技術	講義	吉田 重和
12	総合的な学習の時間の原理と方法	講義、グループワーク	吉田 重和
13	特別支援教育の原理と方法	講義、グループワーク	吉田 重和
14	いのちの教育	講義	吉田 重和
15	まとめ	講義、グループワーク	吉田 重和

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						

参考書	最新教育原理	安彦 忠彦、石堂 常世	勁草書房	2010年	2,200円+税	
	教職概論―ワークシートに基づいた実践的理解	新潟医療福祉大学健康スポーツ学科 教職実践研究会	大学教育出版会	2015年	2,400円+税	
その他の資料	必要に応じて資料を配布					

評価方法

ワークシート・小レポートの内容（25%）、中間レポートの内容（25%）、定期試験の結果（50%）により評価する。

履修上の留意点

本科目を履修するにあたっては、教職概論（1年次前期）を履修していることが望ましい。

オフィスアワー・連絡先

連絡先：yoshida@nuhw.ac.jp（吉田重和／O515）

オフィスアワー：第1・第3水曜日 昼休み